

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月31日

上場会社名 株式会社ファインシスター 上場取引所 東・名
 コード番号 5994 URL <http://www.fine-sinter.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 努 (TEL) 0568-88-4355
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	29,973	3.4	1,029	△8.2	887	△14.5	347	△6.4
30年3月期第3四半期	28,976	4.0	1,121	△27.8	1,037	△27.5	371	△50.8

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 149百万円(△88.9%) 30年3月期第3四半期 1,347百万円(△10.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	78.99	—
30年3月期第3四半期	84.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	46,144	18,256	34.8	3,646.79
30年3月期	46,082	18,578	35.5	3,718.93

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 16,050百万円 30年3月期 16,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	35.00	—	30.00	65.00
31年3月期	—	40.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	2.6	2,500	39.2	2,150	34.9	1,200	159.5	272.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	4,420,000株	30年3月期	4,420,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	18,835株	30年3月期	18,550株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	4,401,284株	30年3月期3Q	4,401,489株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、総じて見ると堅調さを維持したものの、前年同期に比べると成長のペースは徐々に減速いたしました。米国は雇用環境及び個人消費の改善等を背景に景気は拡大を続けました。一方、中国は対米貿易摩擦の影響を受け景気の減速が鮮明になってきましたが、アジア全体としては好調な輸出等に支えられ拡大基調にあります。また、わが国経済も依然として緩やかな景気回復を続けております。

当社製品の主要市場である自動車産業におきましては、前年同期に対し、タイ・インドネシアで販売台数が増加した半面、国内は横ばい、米国・中国は減少いたしました。

こうした状況の中、当社グループは、米国第2工場における新規自動変速機用部品の立上げを完了し、さらに前年度に立上げたトヨタTNGA部品の増産準備に取り掛かっております。また、国内では新四輪駆動車の機能部品とハイブリッド車用インバーター部品等を立上げ、期中より相次いで量産を開始いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は29,973百万円と前年同四半期に比べ996百万円(3.4%)の増収、営業利益は1,029百万円と前年同四半期と比べ92百万円(8.2%)の減益、経常利益は887百万円と前年同四半期と比べ150百万円(14.5%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は347百万円と前年同四半期と比べ23百万円(6.4%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①粉末冶金製品事業

自動車用部品につきましては、米国において前年度に立ち上げた新規品が売上の増加に大きく寄与しましたが、原料市況の高騰や国内での新規品立上げ費用、米国子会社でのワーカー採用難による生産ロス等が利益を圧迫しました。一方、鉄道車両用部品につきましては、2016年度新規開発の新幹線用ブレーキライニングの搭載車両増加により売上増となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は28,563百万円と前年同四半期と比べ1,061百万円(3.9%)の増収となり、セグメント利益につきましては、2,158百万円と前年同四半期と比べ57百万円(2.6%)の減益となりました。

②油圧機器製品事業

手術台用及び画像診断機器用製品は好調に推移したものの、デンタルチェア用製品は前年度受注増の反動で北米・国内ともに売上減となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,403百万円と前年同四半期と比べ65百万円(4.4%)の減収となり、セグメント利益につきましては、395百万円と前年同四半期と比べ46百万円(10.5%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金の減少(前連結会計年度末比530百万円減)、原材料及び貯蔵品の増加(前連結会計年度末比403百万円増)等により、18,087百万円(前連結会計年度末比100百万円減)となりました。固定資産につきましては、有形固定資産の増加(前連結会計年度末比523百万円増)、投資有価証券の減少(前連結会計年度末比463百万円減)等により、28,056百万円(前連結会計年度末比161百万円増)となりました。

以上により、資産合計は46,144百万円(前連結会計年度末比61百万円増)となりました。

流動負債につきましては、1年内返済予定の長期借入金の減少(前連結会計年度末比635百万円減)、営業外電子記録債務の増加(前連結会計年度末比421百万円増)等により、17,808百万円(前連結会計年度末比150百万円減)となりました。固定負債につきましては長期借入金の増加(前連結会計年度末比619百万円増)、リース債務の減少(前連結会計年度末比54百万円減)等により、10,078百万円(前連結会計年度末比533百万円増)となりました。

この結果、負債合計は27,887百万円(前連結会計年度末比383百万円増)となりました。

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が39百万円増加、その他の包括利益累計額が356百万円減少したことにより、非支配株主持分を除くと16,050百万円(自己資本比率34.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月26日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,518,440	3,988,204
受取手形及び売掛金	7,927,970	7,581,074
電子記録債権	1,221,350	1,335,884
商品及び製品	732,893	861,085
仕掛品	1,428,606	1,565,014
原材料及び貯蔵品	2,041,790	2,445,421
その他	316,658	310,880
流動資産合計	18,187,709	18,087,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,301,259	13,488,083
減価償却累計額	△7,830,143	△8,086,056
建物及び構築物(純額)	5,471,116	5,402,026
機械装置及び運搬具	43,590,744	46,010,849
減価償却累計額	△32,914,718	△33,770,426
機械装置及び運搬具(純額)	10,676,026	12,240,422
工具、器具及び備品	5,086,017	5,879,268
減価償却累計額	△4,266,942	△4,735,281
工具、器具及び備品(純額)	819,075	1,143,986
土地	3,549,051	3,551,404
リース資産	558,304	473,398
減価償却累計額	△403,247	△342,729
リース資産(純額)	155,056	130,669
建設仮勘定	3,167,207	1,892,778
有形固定資産合計	23,837,533	24,361,287
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	113,834	84,210
その他	143,409	198,140
無形固定資産合計	268,651	293,758
投資その他の資産		
投資有価証券	2,525,448	2,062,109
長期貸付金	11,726	6,285
繰延税金資産	1,172,730	1,252,623
その他	88,922	90,738
貸倒引当金	△10,242	△10,242
投資その他の資産合計	3,788,585	3,401,514
固定資産合計	27,894,770	28,056,561
資産合計	46,082,480	46,144,127

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,119,810	3,352,079
電子記録債務	2,778,120	2,949,696
短期借入金	5,908,608	6,393,000
1年内返済予定の長期借入金	2,237,399	1,601,760
リース債務	115,983	76,859
未払法人税等	312,794	31,498
未払消費税等	151,158	106,085
未払費用	635,809	818,488
賞与引当金	907,096	443,979
役員賞与引当金	42,665	32,137
設備関係支払手形	155,772	193,911
営業外電子記録債務	409,290	830,399
その他	1,184,583	978,853
流動負債合計	17,959,092	17,808,748
固定負債		
長期借入金	4,775,064	5,394,829
リース債務	218,852	164,508
役員退職慰労引当金	87,867	96,041
退職給付に係る負債	4,073,836	4,073,268
資産除去債務	329,798	334,393
その他	59,583	15,862
固定負債合計	9,545,003	10,078,904
負債合計	27,504,096	27,887,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,722,945	1,721,609
利益剰余金	11,305,566	11,345,122
自己株式	△29,680	△30,367
株主資本合計	15,201,832	15,239,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,171,375	838,472
為替換算調整勘定	280,646	182,056
退職給付に係る調整累計額	△285,149	△209,753
その他の包括利益累計額合計	1,166,872	810,775
非支配株主持分	2,209,679	2,206,334
純資産合計	18,578,383	18,256,474
負債純資産合計	46,082,480	46,144,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	28,976,969	29,973,504
売上原価	24,691,114	25,802,992
売上総利益	4,285,855	4,170,512
販売費及び一般管理費	3,164,080	3,141,083
営業利益	1,121,775	1,029,428
営業外収益		
受取利息	7,210	7,798
受取配当金	64,024	62,763
為替差益	20,228	—
作業くず売却収入	22,218	27,883
デリバティブ評価益	7,387	18,329
雑収入	30,825	36,666
営業外収益合計	151,895	153,441
営業外費用		
支払利息	171,972	199,326
固定資産除却損	44,849	63,045
為替差損	—	15,825
雑支出	19,070	16,968
営業外費用合計	235,892	295,166
経常利益	1,037,778	887,703
税金等調整前四半期純利益	1,037,778	887,703
法人税等	451,857	307,303
四半期純利益	585,920	580,400
非支配株主に帰属する四半期純利益	214,420	232,752
親会社株主に帰属する四半期純利益	371,500	347,647

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	585,920	580,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	260,426	△332,902
為替換算調整勘定	386,204	△173,103
退職給付に係る調整額	115,281	75,394
その他の包括利益合計	761,912	△430,612
四半期包括利益	1,347,832	149,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,011,872	△7,084
非支配株主に係る四半期包括利益	335,959	156,871

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

1. 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,502,118	1,468,388	28,970,507	6,462	28,976,969	—	28,976,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	27,502,118	1,468,388	28,970,507	6,462	28,976,969	—	28,976,969
セグメント利益	2,216,412	442,308	2,658,720	1,783	2,660,503	△1,538,728	1,121,775

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△1,538,728千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,563,415	1,403,172	29,966,587	6,917	29,973,504	—	29,973,504
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	28,563,415	1,403,172	29,966,587	6,917	29,973,504	—	29,973,504
セグメント利益	2,158,548	395,827	2,554,375	2,790	2,557,166	△1,527,737	1,029,428

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△1,527,737千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。